NEWS RELEASE

2026 年 11 月 05 日
株式会社ＣＲＩ・ミドルウェア
(コード番号：3698、東証スタンダード)

ＣＲＩ・ミドルウェア、エッジ AI 半導体ベンダーの DMP と協業を開始

AI による動画のメリハリ圧縮機能で、監視カメラやドローンの記録映像に貢献

株式会社ＣＲＩ・ミドルウェア（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：押見 正雄）は、株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル（本社：東京都中野区、代表取締役会長兼社長 CEO：山本 達夫、以下「DMP」）と、双方の技術を生かした新たな事業創出に向けた協業に関する基本合意書（MOU）を締結いたしました。DMP の持つエッジ AI カメラ向け SoC※1「Di1」への当社の動画ソリューション「CRI DietCoder® Bridge」展開を軸に、監視カメラやドローンなど、幅広い業界に向け技術拡大に取り組んでまいります。

※1 SoC：特定用途向けに多く使用される IC（集積回路）で、各種機能回路を 1 つの半導体チップ上に集積し、少ない部品で多くの機能を実現するもの。

AI に強みを持つ DMP 製 SoC「Di1」に、AI によるメリハリ圧縮を提供

CRI DietCoder Bridge は、動画データを劣化させずデータ量を削減する動画圧縮ソリューションです。同じ保存容量での記録可能時間の延長に加え、通信コストの削減や、限られた通信帯域での映像伝送に貢献します。

当社は本 MOU 締結にあたり、CRI DietCoder Bridge の AI を活用したメリハリ圧縮機能を Di1 上で実現しました。この機能は、映像の中で重要度が高い対象物の画質を保ち、そうではない部分のデータを削減するもので、DMP のエッジ AI 向け SoC 「Di1」の処理能力と、機械学習データを活用しています。ドライブレコーダーにおける車両のナンバーをはじめ、各機器で求められる要素の視認性を残したまま大幅にデータを削減、メリハリある動画圧縮を行います。

今回の協業では、当社からは CRI DietCoder Bridge などで活用している映像最適化技術を、DMP からはエッジ AI 技術を持ち寄ります。機器上で AI 処理を行う「エッジ AI」の技術開発に早くから取り組んできた DMP との連携で、Di1 導入が見込まれる監視カメラやドローンなど、幅広い業界への技術提供を目指します。また CRI DietCoder Bridge を Di1 上に実装することにより、当社の高品質な動画圧縮機能を多様な組込み機器へ円滑に提供します。

今回の取り組み開始により、当社は 2030 年までに CRI DietCoder Bridge にて累計 10 億円の売り上げと、複数の分野への製品展開を目指します。そして、映像データの分析と活用による新たな事業機会の創出に取り組んでまいります。

EdgeTech+ 2026 の DMP ブースにてメリハリ圧縮の最新デモを初展示

今回の MOU 締結にあわせ、当社は横浜にて開催される「EdgeTech+ 2026」の DMP ブースで CRI DietCoder Bridge を展示します。製品の正式リリース後初めての出展となる今回は CRI DietCoder Bridge の基本機能を紹介するほか、AI によるメリハリ圧縮機能のデモを展示します。なお EdgeTech+ 2026 への当社出展は、内容に合わせて 3 か所で展開予定です。

＜出展概要＞

EdgeTech＋ 2026(https://www.jasa.or.jp/expo/)

日時：2026 年 11 月 18(水)～20 日(金)

会場：パシフィコ横浜

- Di1 と CRI DietCoder Bridge の連携展示：株式会社ディジタルメディアプロフェッショナルブース（DB-12）
- CRI DietCoder Bridge の基本機能と当社のソフトウェア技術紹介：株式会社ＣＲＩ・ミドルウェアブース（CS-21）
- 当社モビリティ事業が参画する Open SDV Initiative での取り組み：特定非営利活動法人 TOPPERS プロジェクトブース（BX-21）

CRI DietCoder Bridge（シーアールアイ ダイエットコーダー ブリッジ）とは

CRI DietCoder Bridge は、映像の画質を保ちながらデータ量を削減する動画圧縮ソリューションです。同じ保存容量での録画可能時間を従来比の最大 10 倍※2 に延長するとともに、通信コストの削減、限られた通信帯域での映像伝送に貢献します。動画圧縮処理と通信の間で生まれる遅延を内部動作の最適化により従来の 3 分の 1※3 に低減、データ入力から圧縮までの一連の処理を無駄なく実行します。また SoC へ実装することで、機器組込み時のソフトウェア調整を効率化、複数機種での展開を円滑にします。コア技術は監視カメラや医療用動画などで活用実績があります。

2026 年 4 月に提供を開始した本製品は、エッジ AI に強みを持つ Di1 との連携を視野に AI による機械学習データを活用したメリハリ圧縮機能を製品化に向けて開発中です。ドライブレコーダーにて特に求められる車両のナンバーなどは鮮明に、それ以外の部分は圧縮率を高める独自手法により、大切なものを確実に記録するメリハリある動画圧縮を実現します。

CRI DietCoder Bridge

https://www.cri-mw.co.jp/business/product/web/dietcoder-bridge/

※2、※3：当社調べ

株式会社ディジタルメディアプロフェッショナルについて

株式会社ディジタルメディアプロフェッショナルは、GPU および AI 半導体の開発を手掛けるファブレス半導体企業です。独自の画像処理および AI 技術を基盤に、「Making the Image Intelligent」をパーパスに掲げ、エッジ AI 分野における革新的なソリューションを提供しています。エッジ AI 向け SoC 「Di1」は、リアルタイム性の向上や通信負荷の低減などを実現する技術が評価され、組込み業界の製品・サービスを表彰する「EdgeTech+ AWARD 2025」にて「Edge Technology 優秀賞」を受賞しています。

【会社概要】
社名：株式会社ディジタルメディアプロフェッショナル
本社所在地：東京都中野区中野四丁目 10 番 2 号 中野セントラルパークサウス 16 階
代表取締役会長兼社長 CEO：山本 達夫
事業内容：GPU および AI 関連の IP コアライセンス、半導体・モジュール等製品の開発、販売、GPU および AI 関連のプロフェッショナルサービスの提供
設立： 2002 年 7 月 10 日
HP：https://www.dmprof.com/

株式会社ＣＲＩ・ミドルウェアについて

「音と映像で社会を豊かに」を企業理念として、主に音声・映像関連の研究開発を行い、その成果をミドルウェア製品ブランド「CRIWARE（シーアールアイウェア）」として、ゲーム分野をはじめ、モビリティ、組込み分野などのさまざまな分野に展開しています。ＣＲＩは、「CRIWARE」を通じて、ユーザビリティの向上、クオリティ向上のための技術やソリューションを提供し、開発者の皆様の課題解決をサポートするとともに、エンドユーザーのユーザビリティの向上をサポートしてまいります。

【会社概要】
社名：株式会社ＣＲＩ・ミドルウェア（CRI Middleware Co., Ltd.）
本社所在地：東京都渋谷区桜丘町 20-1　渋谷インフォスタワー11 階
代表取締役社長：押見 正雄
事業内容：音声・映像等に関する研究開発、ミドルウェア製品の販売・サポート、および関連する受託開発
設立：2001 年 8 月 1 日
HP：https://www.cri-mw.co.jp/

※「ＣＲＩ」、「CRIWARE」、「DietCoder」、および CRIWARE ロゴは、日本およびその他の国における株式会社ＣＲＩ・ミドルウェアの商標または登録商標です。
※その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社ＣＲＩ・ミドルウェア　広報担当
Web フォーム（広報問い合わせ）：https://www.cri-mw.co.jp/contact/prir.html
URL：https://www.cri-mw.co.jp/

以　上